

参加費無料!

講演会:

深圳/シリコンバレーにみる、 MakerMovementの「実際のところ」

7月29日(水) 17時～

明治大学 中野キャンパス 5階ホール

主催: 明治大学 宮下研究室



世界のMakerビジネス/イノベーションを牽引するSeedstudioをお招きし、彼らが考えるMakerがもたらすイノベーションの形と、日本のMakerに期待することを議論します。



エリック・パン Seedstudio CEO

2008年創業、中国深圳に本拠を置く、世界最大のMaker支援企業。HAXの共同創業者である。生産者と消費者が別れていた時代から、生産して消費者とコミットし続けながらデザインを考えるIndie Design」「サプライチェーンからDemand Chain」を体現する企業。

「アイデアはあるが何も作ったことがない」Dramer、
「製品とは言いづらいが何がやりたいかはわかる」Prototype Maker、
「一つなら製品のようなモノを作れる」Veteran Maker、
「1000個、Kickstarterに出すようなモノが作れる」Hardware Startup、
「10000個以上のモノが作れる」ハードウェア企業、
のすべての階層のMakerビジネスを支援している。
Genuinoの正式製造パートナーでもあり、世界のMakerビジネスの中核を担う企業。

※英語での講演になります。適宜通訳する予定です。



秋田純一

金沢大学 理工学域 電子情報学類 教授

1998年 東京大学大学院 工学系研究科 電子情報工学専攻 博士課程修了、博士(工学)。
金沢大学、公立はこだて未来大学 を経て、2004年より金沢大学に着任、2011年より金沢大学理工学域 電子情報学類 教授。幼少時からの電子工作好きと、研究対象である半導体集積回路との交点として、「集積回路が道具になる」ことで、Makerの活動の幅が広がることを目指し、学会やMakerFaireなどで活動中。本年、MakerがLSIを設計・製造するための方法の確立と検証に関する研究をスイッチサイエンスと共同で開始した。



高須正和

MakerFaire深圳2015 /MakerFaire シンガポール2015 実行委員会

「新規性と有用性」を「有識者が査読」で判断するか、「上司が企画書」で判断する従来型のイノベーションと、とりあえず「市場」に出してみても「売れるかどうか」、または時価総額/株式市場で判断される形のイノベーションの違い、また、最近MITメディアラボあたりがプロダクトを作ったり出資したりして、「プロダクトを成功させるのも研究」みたいな形になっているのはどういうことなのかを、LittleBits, HAX(旧名HAXLR8R)などの具体例を交えて話します。Seedがやっている「ハードウェアスタートアップじゃない形での製品の出し方」についても紹介します。